

第3回入退院時支援部会が開催されました。



2017年9月25日
春日謙信交流館会議室にて

第3回入退院時支援部会

前回に引き続き、「ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン」の見直しについて、フロー図（案）を作成し、連携に大切なポイントについて話し合いました。

地域連携連絡票に関する意見

○地域連携連絡票は、入退院時の連携ツールとして、ケアマネが思いを込めて作成し、情報提供してくれるが、病院側は地域連携連絡票の情報をどのように理解し、入院中や退院支援に向けてどのように活用していけばよいか、わからない。

○一番下の欄はフリーで書けるようになっているので、キーパーソンや緊急連絡先など、入退院時に伝える必要がある内容について、記入することができる。

○病院側は、薬の情報は最新情報が常に記載されていることは難しいので、お薬手帳で確認することが多い。

○ケアマネ協議会の役員にアンケートをとった結果、地域連携連絡票を入院時の情報提供書として使用している人が約7割だった。「地域連携連絡票がアセスメントシートとして使用できたらよいと思う」という意見もあり。

スムーズな入退院支援のために

○ガイドライン（案）が、ご本人の在宅での生活を支援していくための「連携の心得」となるよう、ケアマネや地域包括支援センターと病院との情報交換会を開催しよう！



上越地域医療センター病院、知命堂病院において、ケアマネジャー、地域包括支援センターとの情報交換会を実施予定！

～病院側のスタッフと地域でご利用者さんやご家族を支える専門職との顔の見える関係づくりを深めて、これまで以上に入退院の支援がスムーズになるようにしていきます！～



★次回★

情報交換会後、11～12月頃
春日謙信交流館